

どーらく 改題 逆説土楽たより

断捨離考

4月号(NO43)通巻 193号

2022年4月10日(日)発行(毎月10日)

【農暦】オイヌノフグリ、ホトケノザ、ナズナが勢いを増している！

○桜は今年もいつものように咲いた。そして桜を愛でる人はいる。だが、いつもとは何となく違う。花冷えというが、冷い雨が殊更に身体に伝える。コロナが、ウクライナが、春を愛でる気持ちを冷たいものにしてしているのかも知れない。コロナも、ウクライナもだが、マスコミも、政府も、“出口”を語らず、ただ今の状況の流れに同調・便乗したニュースが繰り返され、世論が煽られているように感じてしまう。冷静な出口政策の世論づくりをと思うのだが、重い同調圧力に、憂鬱は募るばかりである。桜は満開だが、春が遠くに感じる。

○テレビニュースを見ていると、時々、プロパガンダを見せられているようで嫌になる。だから最近は好んでスポーツやドラマ番組を見ている。スポーツには偽りが無い、ドラマはフィクションでもリアルな真実を感じるものが多いからである。

○考えて見れば、近代史はプロパガンダの連続であった。切り取った映像は事実ではあるが、真実とは限らない。憎悪を煽ることは慎みたい。憎悪からは何も生まれな

い。弱者は情報弱者でもある。戦争の加担者にはなりたくない。武力でない、ミサイルでないもので、止めねばならない。地球温暖化は人類滅亡の淵に近いこと示している。戦争などしている場合ではないのである。人類の知恵で救えると信じたい。20世紀は戦争の世紀で21世紀は平和の世紀だと思っていたが、まだ暫くは末法の世が続くそうである。

○悲惨でない戦争はない。経済制裁、武器援助などで、益々拡大に進んでいる。怖い。拡大させない、止めるための努力を世界のリーダーに求めたい。銃口に晒されるのは、いつも弱者だからである。

○春の芽吹きが始まっている。寒い日が続くが春は近い。オイヌノフグリ、ホトケノザ、ナズナなどが花をつけ勢いを増している。篠竹刈りは止めにして、焼却したり、堆肥枠の修理などをしている。草刈りも、春耕も始めた。じゃが芋を植えた。絹さやが10cm程になっている。ウクラ



＜あけぼの山の桜＞30日撮影



＜ホトケノザ＞畑の畦で14日

イナ、コロナ収束を祈りながら、農作業に励みたいと思う。(了)

【薬農】＜畑＞じゃが芋植え。葱、菊の草とり。篠竹刈りなど。堆肥枠の修理。

【薬市】イベントなど；詩吟例会はコロナ汚染拡大で中止継続

【つぶやき=Tweet】兵士も人の子であり、人の親である！

○5日の新聞に“キーウ近郊民間人410遺体”、同じ新聞に“海に眠る30万柱遠い収集”旧トラック諸島とあった。叔父が近くの家で戦死している。叔父の墓には遺骨はない。いかなる理由があっても戦争はだめである。防衛、自衛の兵器も人を殺す。チャプリンが“一人殺せば殺人犯で、千人殺せば英雄”と言ったが、英雄はいらない。正義の戦争などない。戦争行為は絶対悪である。兵士なら殺されてもしかたがない。と言えない。兵士も人の子であり、人の親である。同じ新聞に、防衛大で任官を希望しなかった人が多かった。とあった。ウクライナの影響？かもしれない。



＜散歩道で＞28日撮影

○経済制裁は更に拡大し、援助の兵器まで送り込まれる。ウクライナの戦禍は拡大するばかりで、生物兵器、核兵器の使用可能性までもが言及されてる。怖い。日本では、憲法9条など無視の世論が煽られているように感じる。俄かに核共有が論議されている。怖い話である。9日の新聞に“追い詰めすぎへの危惧もあるか。ロシアは排斥の国連決議に、反対・棄権が82カ国も”とあった。“窮鼠猫を咬む”は絶対に避けなければならない。日本の憲法、九条の理念こそが世界平和の21世紀に繋がるのだと思う。

○6日の新聞に、広島県は核廃絶を目指す国際NGOを設立したと、国連の30年までのSDGSの次の開発目標に「核兵器廃絶の達成」を盛り込むように働きかけるという。設立趣意書には「核兵器が使われれば＜略＞全てのSDGSは達成不可能になる」と、国際NGOには、欧米や韓国、インドなど13カ国の29団体が現時点で参加を表明し、日本からは広島の反核団体や長崎県が参加とあった。日本は2017年3月の国連の核兵器禁止条約交渉の会議を欠席した。日本代表の席に折り鶴が置かれ、英語で「あなたがここにいてくれたら」とあったと云う。唯一の被爆国の日本は核共有では無く核廃絶の側であって欲しい。



＜オイヌノフグリ＞畑の畦で14日

○同じ新聞に、自民党内にBPO（放送倫理・番組向上機構）を機能検証と動きがあり、NHKと民放連の理事からヒアリングしたと云う。15年の「クローズアップ現代」の過剰演出問題で高市総務相（当時）がNHKに厳重注意にBOPが批判などの記事があった。「クローズアップ現代」は良い番組と思っていたので、やはりかと思った。日本学術会議任命問題と同じで怖い。マスコミの政権チェック機能は民主主義にとって大事なことである。（了）

○断捨離考：廃棄継続、物増え止まらず。

【後記】コロナ収束、ウクライナ停戦こそが最優先に思う。 【HPに転載】

発行者；小暮虎雄

住所；笠間市本戸4201-10

携帯電話；090-9333-4135

HP；kogure農場

メール；torao-k@nifty.com